



新年明けましておめでとうございます

校長 早川 修一

皆様方には、清々しいお正月をお迎えになったことと存じます。職員一同、今年も子供たちのために力を尽くしてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

「あけまして おめでとうございます」「さくねんは いろいろとおせわになりましてありがとうございます」「ことしも どうぞ よろしくおねがいします」 私が子供のころのお正月は、家族そろって正座して向き合い、新年のあいさつを交わしました。何となく緊張し、改まった気持ちになって背筋が伸びたような気がしたものです。皆様のご家庭でも、それぞれに新しい佳い年を迎えられたことと思います。

しっかりと向き合って、相手の目を見てあいさつを交わす。目を見合うことによって、気持ちが通じます。気持ちが通じることで、人としての温かいかわりができます。昔から「あいさつ」が大事にされてきたゆえんでしょう。

向山小では、年間を通してあいさつ運動を行い、子供たちと教職員が一緒になって努力しています。あいさつを返すのはもちろん、自分から進んであいさつができる子も確実に増えています。朝、門で立っていると、しっかり立ち止まり手を前でそろえ、私の目をしっかり見てから「おはようございます。」と言ってくれる子もいます。礼儀正しい姿を見て、とても嬉しく思います。今年も引き続き「あいさつ」を大切に、自分から進んであいさつができる子供をさらに増やしていきたいと思ひます。

今年、とても穏やかな天気のが日で新しい年が始まりました。とはいえ、早々に熊本で大きな地震があり、改めて防災について考えさせられた新年でもありました。また、1月6日はちょうど良い天気にも恵まれて、早速部分日食を見ることができました。今年、12月26日にも部分日食が見られるそうです。子供たちが地球、月、太陽の動きなどに興味をもつきっかけになってくれればと思います。

今年も一人一人が学校でよりよく生活し学べるよう、保護者、地域の皆様と手を携え、向山小の子供たちを育てていきたいと思ひます。お力添えをよろしく願ひします。

展覧会保護者アンケート結果

11月9日（金）・11月10日（土）に行われました展覧会保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。いただきました内容についてご報告させていただきます。

【作品について】

- 子供たちが一生懸命に作った作品を見て、とても見応えがあった。
- 低学年、中学年、高学年というそれぞれのよさが作品に出ていた。
- ▲作品数をもう少し増やせないか。
→子供たちの頑張りを褒めていただいている内容が多くありました。作品数については、展示スペースの関係上、今回以上に増やすことは難しいです。

【展示方法や会場表示について】

- 体育館全体が、美術館のように感じられた。
- ▲作品をクラスごとに出席番号順で展示してもらえると、作品を見つけやすい。
→形や色合いなど、その作品のよさが引き立つよう、バランスを考えて展示しております。（前回いただいたご意見を参考に、今回は作品カードにクラスを明記しました。）
- ▲プログラムの全体図に、共同作品の場所も表示してほしい。
→今回、会場入口付近に各学年共同作品の表示をしていましたが、お気づきにならなかった方が多かったようです。表示の方法や場所等を検討いたします。
- ▲トートバッグ（6年）は、片面しか見られない作品があった。
→トートバッグについては、児童の希望により展示の方法を決定しました。

【日程について】

- ▲公開時間をもう少し延ばすか、開催日をもう一日増やすことはできないか。
→受付や安全管理の面で、教職員の人手が足りないことから困難です。しかし、受付や会場の管理について、保護者の方々のご協力をいただければ、公開時間の延長や、3日間の開催も可能であると考えています。

【その他】

- ▲下校時に子供と一緒に見られるとよい。
→児童が下校時に鑑賞をする場合、①ランドセルを背負ったまま鑑賞すると、ランドセルが当たるなどして、作品を壊してしまう危険性が高まる。②ランドセルを置いて鑑賞する場合、体育館付近にランドセルを置くのに適した場所がない。という2つの問題があります。これらの問題点を考慮し、今回は下校してランドセルを置いてから鑑賞しにくるというルールにさせていただきました。
- ▲制作中の様子を見られるとよい。
→制作中の様子は、学校公開時にご覧ください。写真や動画で制作過程を撮影することも検討いたしますが、全員を撮影することは困難かと思われます。

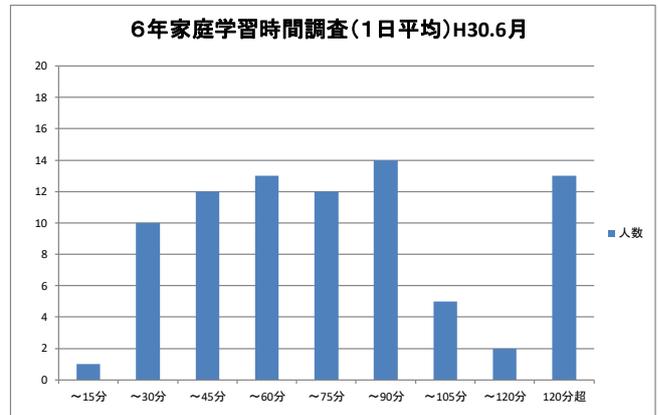
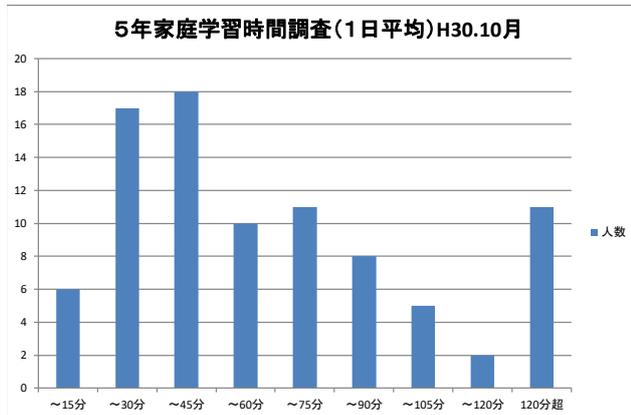
家庭学習調査（平成30年度10月実施）まとめ

10月2日（火）～10月8日（月）に5・6年生を対象に『家庭学習時間』の調査を実施しました。今回も、前回に引き続き、『家庭学習時間』の内訳（『宿題時間』『自主学習時間』）も調べました。

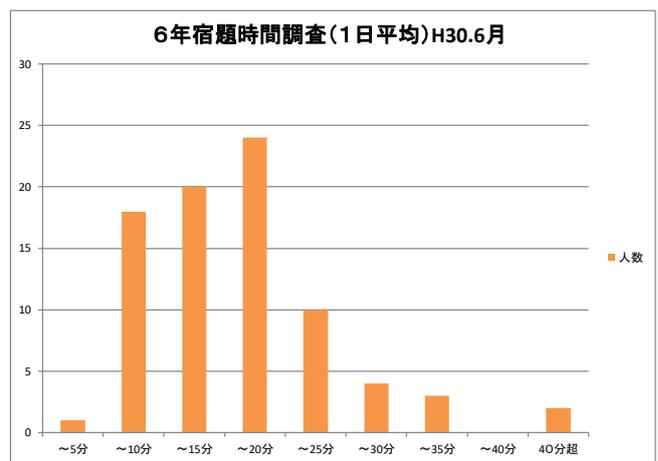
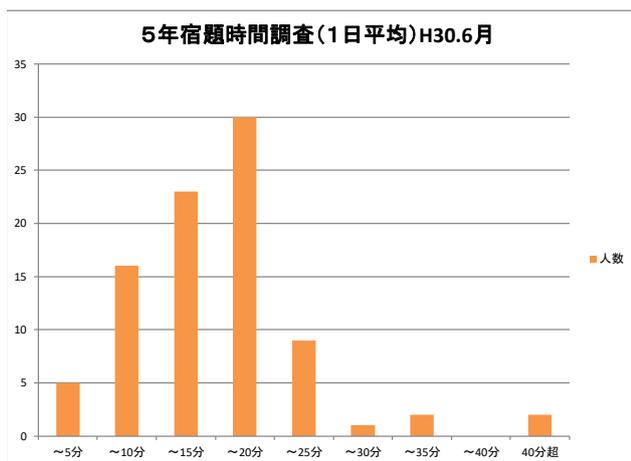
$$\text{『家庭学習時間』} = \text{『宿題時間』} + \text{『自主学習時間』}$$

*下記グラフ①は『家庭学習時間』の、グラフ②は『宿題時間』の1日の平均時間をそれぞれ表しています。
*調査票で自主学習内容が曖昧な例示になっていたため、ドリル、塾の宿題、通信学習教材、読書、習い事の練習など幅広い回答がされていました。

グラフ① 家庭学習時間調査（1日平均）



グラフ② 宿題時間調査（1日平均）



結果と考察

- 小学校では、担任より宿題（音読、漢字、計算、作文など）が準備されているため、家庭学習時間が0分という児童はいなかった。
- 家庭学習時間は、5年生は1日平均15～30分、30分～45分の児童が一番多い。6年生は幅広く分布している。
- 120分以上家庭学習時間に取り組んでいる児童も見られ、学習塾の勉強を中心に取り組んでいるようである。120分以上家庭学習時間に取り組む児童を学年で比較すると、6学年の方が人数が多く、中学受験を意識している結果だと考えられる。
- 学習時間の目安である『学年×10分』（5年生＝50分、6年生＝60分）を超えていない児童は、5年生では約48%、6年生では約44%である。
- 宿題時間の1日の平均は、5年生が15分、6年生が16分であった。
- 宿題時間が30分以内である児童は、5年生は約95%（88名中84名）、6年生は約94%（82名中77名）である。
- 学習時間目安を考えると、宿題時間だけでは足りず、その他の自主学習時間が重要となる。
- 小学校の今後の取り組みとして、決まった宿題だけをこなしている児童には、宿題以外の学習を促す取組が必要である。それが、中学校で求められる学ぶ姿勢につながる。学年だより等で、自主学習ノートの作成を小中一貫教育研究の一環として行った。

1月



- 生活目標 「健康に注意し、体をきたえよう。」
あいさつ目標 「まちがいは、すなおな気持ちで『ごめんなさい』」
保健目標 「朝の排便習慣を身に付けよう。」
給食目標 「食べ物を大切にしよう。」

1月行事予定

- 1日(火) 元日
7日(月) 冬季休業日終
8日(火) 始業式 委員会活動(5校時)
9日(水) 安全指導日 計測6年
10日(木) 計測5年
11日(金) 計測4年
12日(土) 土曜授業日 席書会5・6年
14日(月) 成人の日
15日(火) 避難訓練 計測3年
16日(水) 計測2年
17日(木) 計測1年
18日(金) 選挙体験教室6年
19日(土) 連合図工展(24日まで)
サタデースクール
クラブ活動
21日(月) 校内書き初め展(~25日)
22日(火) ハッピータイム
学校公開日 ボッチャ体験会4年
23日(水) ダスキン出前授業2年
26日(土) 連合書写展 サタデースクール
27日(日) 連合書写展 かるた取り大会
28日(月) クラブ活動(クラブ見学)

<2月の予定>

- 2日(土) 葉かげの集い
4日(月) 委員会活動
5日(火) 安全指導日
8日(金) 東芝環境教育プログラム6年
土曜授業日 2分の1成人式4年
9日(土) 租税教室6年 第3回学校評議員会
11日(月) 建国記念の日
12日(火) クラブ活動 5時間授業(1~3年)
13日(水) 教育会研究発表会
14日(木) 避難訓練 新1年生保護者会

学年の窓 ~3年生~

「大根を育てて大根はかせになろう」

今年度も3年生は、地域の保戸塚さんにお世話になり、練馬大根と青首大根の栽培にかかわらせていただきました。子供たちは、小さな種が大きく長い大根に成長したことに驚きと喜びを感じていました。12月には大根を干し、家庭科室で塩・砂糖・昆布を混ぜたぬかに漬け込みました。今月末にはたくあん漬けが完成する予定です。さて、どのような味になっているでしょうか。出来上がりが楽しみです。

また、練馬大根の歴史や日本各地の大根の種類など、自分が興味をもったことについて本やインターネットで調べ、新聞にまとめました。古くから様々な調理をされ食卓を彩っていたことを知り、大根により深く興味をもつことができました。

1組担任 伊達 睦

2組担任 金井 佑樹

校内書き初め展について

1月21日(月)から25日(金)まで、書き初めが、各教室の廊下等に展示されます。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆の作品です。

書写の授業においては、「正しい姿勢で書く」「一字一字、集中して書く」といっためあてをもって学習します。納得のいくまで書いたり、集中を途切れさせず書いたりすることは、自分と向き合う良い機会です。ていねいに心をこめて書いた文字を見ながら、子供たちは毎年自分の成長を感じることでしょう。今年はどうな成長をしていくのか、新年に期待をもってほしいと思います。

ぜひ、23日(水)の学校公開日には、授業と併せて、子供たちの気持ちがこもった力作をじっくりとご覧いただければ幸いです。

国語部 内藤 陽徳

